

令和3年度

## 【1】

題名	父の仕事
本人氏名	新井 鳳介（あらい おうすけ）
性別	男
年齢	14
候補者との続柄	子
<p>つい最近、道路工事をしているのを見て、父が解説してくれました。話を聞いていると、父は、道路上で電気通信の工事をする仕事をしているのだと知りました。正直、昔、母から「電柱を作る仕事」とだけ聞き、地味だなあと思っていたのですが、改めて父の口から教えてくれたことで驚いたし、ガラリと価値観が変わりました。</p> <p>インターネットを使って毎日のように、Youtube を見たり、ゲームをできたりするのは、父たち通信技能者のおかげなのです。</p> <p>このご時世コロナのせいで、世間では、テレワークが推奨され、僕たちの学校でも、リモート学習が始まったのですが、iPad を使ってみんなが学習できていたのは、自分の父のおかげだと思うと、少し誇らしく思います。</p> <p>このように、「通信技能者」という聞き馴染みのない職業ですが、割と日々身近で僕たちと関わりがあるものなのです。また、今、世間では、ブロードバンド等、5G 等、騒がれていますが、そんな日本の高い通信技術も父たちがいなければできなかったものです。その変わり、中々大変な仕事であることも知りました。</p> <p>僕が、小学生の頃、単身赴任の父が現場でトラブルが起きて帰らなかった時がありました。その時は、寂しいなあくらいにしか思っていたのですが、改めて考えると、この仕事、日本の重要なインフラを支えているのです。小さなトラブルでも何万人の人で影響してしまう、かなり責任の重い仕事なのです。ただ責任が重いということは、多くの人から期待されているということです。</p> <p>今、通信技術は、どんどん発達してきています。そのためには、通信するための設備や、増築がいるため、父のような人は、必要不可欠です。</p> <p>このようなことからもっと将来の僕たちのために、頑張ってもらいたいという気持ちと、この業界で20年以上働きながらも、僕たち二人兄弟を塾に通わせ、勉強をつきっきりで見て、二人とも中学受験に合格させてくれた父には、本当に感謝し、頭が上がりません。</p> <p>こんな父を誇りに思うとともに、僕は、まだ将来について具体的には、決めていませんが、父のように日々の生活を支え、日本の未来を担う誇れる仕事につきたいと思っています。ただ僕は、父を越えたいと思っています。父は、通信の工事をする時、ある程度、作業員の給料、材料費などを計算し、見積もってから作業するし、現場監督として、安全を確保しみんなの命を守るという志があります。</p> <p>中々ハードルが高いですがこれからも勉強を頑張っていきたいです。</p>	

## 【2】

題名	お父さんの仕事
本人氏名	佐藤 心夏（さとう ここな）
性別	女
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>ふだんお父さんは、家で仕事の話をしていないので、どんな仕事をしているのか聞いてみました。</p> <p>「お父さんは、どんな仕事をしているのですか？」</p> <p>「インターネットをしたい人の家の近くに設備を作る仕事をしているんだよ」</p> <p>「電柱にのぼったり、マンホールの中に入ったりしているんだよ」</p> <p>お父さんは、夏になったら肌が真っ黒になるし、服がびちょびちょになって帰って来る時もあります。冬はいっぱい洋服を着ていきます。私は、何でだろうと思っていました。けど、話を聞いてみて、お父さんはどんな天気でも、お外に出て仕事をしているんだなと思いました。</p> <p>とてもかっこいいと思います。仕事で疲れているのに、一緒にお風呂で遊んでくれてありがとう。今度マッサージをしてあげるからね。だから、お仕事いっぱい頑張っってね。けど、ケガに気をつけてほしいです。</p> <p>これからも、面白くてお仕事を頑張るお父さんでいて下さい。</p>	

## 【3】

題名	ぼくのおじさん
本人氏名	斎藤 淳希 (さいとう あつき)
性別	男
年齢	11
候補者との続柄	甥
<p>ぼくのおじさんは、おぼんやお正月に家に来て、お酒をたくさん飲んで泊まっています。</p> <p>ただのお酒の好きなおじさんだと思っていましたが、去年、サロマ湖にキャンプに行った時にお父さんが「この道路は北原のおじさんが作った道路なんだよ」と教えてくれました。</p> <p>その後におじさんに会った時にその道路を作った事の話を知りました。</p> <p>おじさんは大きい機械のほとんど運転できるって言っていました。</p> <p>いつもお酒を飲んで笑っている顔がその時はまじめな顔になって「夏は暑いし、冬はとても寒いけど、ずっと道路が残るんだよ」とおじさんは言っていました。</p> <p>とてもカッコいいと思いました。それからは道路工事を見るとおじさんがいないかさがしています。</p> <p>ぼくは将来ちょっとだけ道路のお仕事をしてみたいと思いました。</p> <p>おじさんお酒はちょっと少なくして体に気をつけてお仕事がんばってね。</p>	

## 【4】

題名	僕のお父さん
本人氏名	坂田 雄斗（さかた ゆうと）
性別	男
年齢	13
候補者との続柄	子

僕のお父さんの仕事は塗装職人です。  
お父さんは20年以上塗装職人をしています。  
お父さんから仕事の話をよく聞くので「大変だな～」と思うことが良くあります。  
今はコロナが流行っていて熱があると仕事に行けなくなるけど、以前は熱があっても仕事を休まず、仕事をしていてすごいな～と思っていました。  
風が強い日や雨が降っている日でも仕事をしていて、仕事って大変だなといつも思っています。  
忙しいときには、朝6時30分頃に家を出て夜中の12時過ぎに帰ってくると聞き、「えっ、そんなに働くの？」と思い、仕事ってすごく大変だな～と良く思います。  
だけど、お父さんから仕事が大変だとは聞いたことがありません。  
逆に楽しいと良く聞きます。  
仕事場では、他の会社の人や自分の会社の人と色々な話で盛り上がったりと、仕事をしている時でも楽しいので大変と思うことが少ないと言っていました。  
会社には若い人から60代の人も居るけど、休みの日には皆で会社の駐車場でBBQをしたりと年齢に関係なく盛り上がって、すごく楽しそうと一緒に参加した僕も楽しかったです。  
プライベートでもゴルフやバトミントンを行ったりして、仕事の時じゃなくても楽しんでいて、すごくいいなと思います。  
お父さんは特殊塗装もしていて、会社の部屋も特殊塗装をしていました。  
鳥の羽を使って大理石の模様を描いていて、普通の木が本物の大理石と見間違える位に変わって凄い技術だな～と思いました。こんな事が出来るお父さんってすごい職人だな～と思います。  
塗装は簡単に見えたりするけど、実際に刷毛で色を塗ったりしてみると、全然上手く塗れなく色が濃くなったりかすれたりとムラが出来てしまうけど、お父さんが塗るとムラが一切なく綺麗に塗れて「すごいな～」と思います。  
家では、会社の人やフィリピンから来ている実習生の人達とゲームをしたりふざけたりするお父さんですが、仕事の時は全然違い真面目な凄いお父さんです。  
自分から見たお父さんはこんな感じです。

## 【5】

題名	僕からみたお父さんの仕事
本人氏名	赤瀬 渉（あかせ わたる）
性別	男
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>お父さんが現場で直接働いている姿を見た事は、ありませんが、お父さんのしている仕事は、「人々の役に立つこと。とてもスケールの大きな仕事をしています」。たとえば、お父さんは、空港などの埋め立てや、大きな船が入るための、しゅんせつなどの港湾工事です。</p> <p>海の仕事は、天候に左右されるので、お父さんが、見てる天気図や予報を僕も一緒に見て少し詳しくなりました。</p> <p>そんなお父さんは僕の自慢のお父さんです。また、僕が小さい頃に普段乗れないものすごい大きい船の運転席に座らせてくれたり、大きな重機の現場に連れて行ってくれたりと、僕にめずらしい体験をさせてくれました。</p> <p>平日は、一緒に暮らしてはいないけど、休みに帰った日曜も、電話がかかってくる、パソコンで図面や書類を作る作業をしています。あまりゆっくりしているイメージがありません。それでも僕が小学校の頃は、サッカーの試合があったら朝早くても車出しをしてくれたり、応援に来てくれました。そんな時でも、試合会場が海の近くだったらしたら、やっぱり海をよく見えています。いつも仕事の事を考えているんだなと思いました。</p> <p>僕は、お父さんの仕事がかっこいいと思っています。これからも、安全第一で仕事をがんばってください。</p>	

## 【6】

題名	船の駐車場
本人氏名	上村 啓太（うえむら けいた）
性別	男
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>僕の父は海で仕事をしています。建設会社の現場監督をしているのは知っているのですが、海で何をしているのかわかりません。考えたこともありませんでした。朝も早いし、休みも日曜日だけで、遠くに行って家に帰ってこないことのほうが多いです。小学生の時に友達から「船長さんか？漁師さんか？」とよく言われたことがあります。僕もそうかなと思っていたこともありました。</p> <p>この作文を書くために、どんな仕事をしているのかを聞いてみました。建設会社でも海洋土木といって海を工事しているそうです。最初に海の工事だと言われても全くイメージが湧きませんでした。ビルや道路を作ったりしているのはよく見かけるのですが、何を作っているのか全くわかりません。「海に釣りに行ったら防波堤や三角形のブロックとかがあるじゃろ？そんなんを、作りよるんよ」「そんなん昔からあるんじゃろ？」「あるわけないやんか！父さんらが作りよるんよ！簡単に言ったら、船の道路やら駐車場を作りよるんかな」「海に道なんか無いじゃんか！」「海の中で見えんけどあるんよ。見えないけど作りよるんよ」。見えない物を作るのにどうするのか不思議でしたが、「そこがプロの仕事よ。はやぶさも見えない中、遠くから石を地球に持って帰ってきたじゃろうが？それと同じよ」と父が言いました。少し興味が湧いてきました。また仕事は海なので天気、波の状態などかなり影響されてしまい、工事が間に合わなくなってしまうことや、事故もあるそうです。そうならないために仕事を頑張っていると話をしてくれました。外国との貿易もどんどん増えて船が大型化しているので、船が海底に当たらないように工事をしていることもわかりました。港が船の駐車場だということも少しイメージが湧いてきました。</p> <p>僕は今まで父の仕事が海関係だというのは知っていましたが、ここまで細かく話をしたことはなかったので、とても面白かったです。大変な仕事の中で建設技能者として認められる父は本当にプロだと思いました。</p>	

## 【7】

題名	パパは・・・・・・・・
本人氏名	中城 美種 (なかぎ うたね)
性別	女
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>私のパパは、日曜日以外はお仕事でなかなか帰って来ません。だからパパとは、一日しか遊ばせん。でも、一日でも楽しい思い出はたくさんできます。たとえば、お店に行って、ゲームセンターで遊んだり、アイスを食べたり、家では、肩車や風がない日は、バトミントンをしたり、時には、パパが料理をしたりします。(肉をやくだけ)</p> <p>お仕事がある日も電話をして、今日何があったかなどを話して盛り上がっています。たまにお仕事の話もしてくれます。私はそれを聞いて、知らなかったことをたくさん知りました。たとえば、橋をかける前にちがう所で組み立てて大丈夫だったら、そのまま橋にかけるということや、橋にもいろいろかけ方があることなど、命がけということも知りました。</p> <p>家にいる時のパパはママにおこられています、お仕事では、がんばっているんだなと思いました。</p>	

## 【8】

題名	ぼくのお父さんの仕事
本人氏名	沖杉 鳳之介（おきすぎ おうのすけ）
性別	男
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、日曜日以外休みはありません。しかもだいたい夜遅くまで働いていて、大変だなと思います。ぼくのお父さんから「ドアの仕事をしているんだよ」と聞きました。そこでお父さんがやっている仕事を考えてみました。</p> <p>ぼくのお父さんは、ヘルメットをかぶって高い所まで行ったりしてドアをとりつけていると思います。また、大型ショッピングモールなどの自動ドアをつけたりしてしると思います。倉庫のドアなどのドアもとりつけているのかなと思いました。遠い現場に行ったりして色々大変なんだなと思いました。</p> <p>こうやって考えてみたら、結構大変な仕事をしているんだなと感ずることができました。また、ぼくもお父さんみたいに、立派な仕事ができる大人になりたいです。</p>	

## 【9】

題名	ぼくのお父さんの仕事
本人氏名	沖杉 羽樂（おきすぎ うた）
性別	男
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんのお仕事は。古いドアをしんぴんのドアに取りかえるお仕事でビックリしました。どうしてかと言うと、さいしょぼくは、板に色をつけてドアを作っていると思いました。なのでお父さんに聞きました。「お仕事って、ドアを作る仕事なの？」と聞いてみました。するとお父さんは「ちがうよ。」と言いました。ぼくが「じゃあ何をしているの？」と聞いてみると、「古いドアを新品、無使用のドアに取りかえたり、ドアわくを取り付けるお仕事だよ」と言いました。ぼくが「そうなの！」と言うとお父さんが「そうだよ。」と言いました。そしてぼくは、お父さんが何のお仕事をしているかがわかりました。</p>	

## 【10】

題名	僕のおじさん
本人氏名	神田 哲也 (かんだ てつや)
性別	男
年齢	18
候補者との続柄	甥
<p>工事現場で働いている叔父をどう思うか、従兄弟に聞いてみた。従兄弟は、「かっこいいと思う反面、怖くもある。」と答えた。</p> <p>理由を聞くと、軽トラや大きなトラックを運転する姿は見ていてとてもかっこいいし、工事の経験を生かして、家でも椅子やテーブルなど、いろんな物を手作りしている。自分も真似して何か手作りしようと思ったけど、父親の助言がほしいと何度も思ったことがあって、そんなときに父親のかっこよさを感じたのだという。</p> <p>「怖い」ということについても従兄弟に聞いた。工事現場は危険だと思うという一言が返ってきた。父親がいつ事故に遭うかわからない。もしかしたら、大けがするかもしれない。そう思うととても怖いし、夜勤のときはより一層怖かった。けど、だからこそ父親が帰ってくるのがうれしかったのかもしれない。その気持ちは僕もなんとなくわかる気がした。</p> <p>最後に従兄弟に「叔父さんの今までの仕事で一番印象に残っているものは何か。」と尋ねた。間髪入れずに出てきた答えは「公園！」だった。市役所前の公園を自分の父親が造ったという話は何度も聞かされていて、自分もその公園は何度も見ている。</p> <p>この話を聞いた後、その公園を見に行ってみた。たくさんの家族が楽しそうに笑顔で遊んでいた。この笑顔は僕の叔父さんが公園を造ったから生まれたのかと感じた。少しだけ、うれしくなった。</p> <p>工事現場は怖い。いろんな機械があるからそれはなんとなくわかった。でもきっと怖いから一層の安全確認をして作業をしているのだろう。怖い状況での作業だからこそ、立派なものができるのだろうと思った。公園や周りの建物を眺めながら、叔父さんの仕事の偉大さを感じた。</p>	

## 【11】

題名	私のお父さん
本人氏名	古谷 愛奈 (ふるたに あいな)
性別	女
年齢	18
候補者との続柄	子
<p>私は高校三年生。部活では野球部のマネージャーをしていました。他の部員よりなるべく早く部活に行かなければならなく、そして帰りも遅くなります。でも私の父は、そんな私の送り迎えを、仕事で疲れているのにもかかわらず、文句も言わず連れて行ってくれました。私の父は、とても優しく、いつも家族のことを考えてくれる人です。</p> <p>そんな父は、建築業の仕事をしています。私には建築業の仕事内容はあまりわかりませんが、作業服を着て汗を流している父がとても大好きです。</p> <p>以前、父の会社の工事現場を見る機会がありました。高く大きな屋根、その上で作業している父の姿を見て、「かっこいいな」と思う反面、落ちるのではないかという不安も感じましたが、その日、父に聞くと、安全帯などの対策を徹底しているということで、安心しました。母から、父はその現場の責任者でもあり、安全管理や他の作業員の方の育成なども考えながら仕事をしているということを知りました。</p> <p>家では仕事のことについてあまり話をしない父ですが、家にいるときはゆっくり過ごせるように、私たち家族が父を支えたいと思います。</p>	

## 【12】

題名	家と仕事
本人氏名	尾崎 さくら (おざき さくら)
性別	女
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは家にいる時と仕事をしている時で性格が変わらしいです。</p> <p>仕事をしているときは、頭の中は出来るだけ何も考えないようにしないとイケないらしいです。</p> <p>主な仕事の内容は鉄筋と鉄筋をつなぐ仕事です。鉄筋にアセチレンと酸素を使って千三百℃まで温め、三十mpa（メガパスカル）以上の圧力を鉄筋端部にくわえて、鉄筋と鉄筋を結合します。</p> <p>いつも同じようなことを何回もしています。</p> <p>聞いただけじゃ、すごさはあまり伝わりませんが、冬でも夏でも火を使って仕事をしていると沢山やけどやケガをします。</p> <p>どんなに遠い現場でもとまりながら作業をします。</p> <p>そんなお父さんの事を私はすごく尊敬しています。</p> <p>家族のためにがんばって働いてくれて、本当に感謝しています。</p> <p>私から見たお父さんは、すごくカッコいいです。</p>	

## 【13】

題名	私の父の仕事
本人氏名	細川 結衣 (ほそかわ ゆい)
性別	女
年齢	18
候補者との続柄	子

私の父は土木作業員をしています。小さい事は、父の仕事は大きな機械に乗ることだと思っていました。

小学校に入る頃に道路工事をしている人達を見て母が「お父さんの会社でも道路工事の仕事をしているんだよ。」と教えてもらいました。それ以来、父の仕事に少しだけ興味をもつようになりました。

夏場は、炎天下の中、毎日大量の汗をかき、肌が焼けて黒くなるほど外で仕事をして帰ってきます。台風などの自然災害が起こった時は、川が氾濫していないかの見回りや土のう作りなどの復旧工事で、家に帰ってこられない時もありました。冬は、夏に行う仕事の他に除雪の仕事が増えます。除雪の仕事はみんなが寝ている時間帯から始まるので、除雪の仕事がある時には、とても早く出勤してしまいます。4

私は、朝早く起きることが苦手なので、毎朝きちんと起きて仕事に行く父は凄いと思います。また、そういう仕事をしてくれる人がいるからこそ私達は、快適に車を利用して学校に行くことができていると感じました。毎年、道路工事や除雪、復旧作業をしてくれる人がいるから多くの人がこの生活を続けられているのだと思います。暑い日も寒い日も毎日外でしている父や他の土木作業員の方達は、本当に凄いと思います。

## 【14】

題名	優しくて頼もしい父
本人氏名	山口 結愛 (やまぐち ゆめ)
性別	女
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>私の父の仕事は「建設業」です。</p> <p>大雪の日でも、朝から仕事へ向かうことがあります。道路に塩化カルシウムをまいて凍結で事故が起こらないようにしています。</p> <p>大雨の時には川の土手が決壊していないか、道路が浸水していないかのパトロールに行きます。</p> <p>平成28年熊本で起きた地震の時は、2週間被災地へ行き、病院などのように電気を切らしてはいけない所へ電気を供給する車に燃料を運ぶ仕事をしていました。家に父がいないのは、さびしかったけど、被災された方は家族をなくしたり、普通の生活もできない日々を過ごされていると思うと、父にはみんなのために頑張っているという気持ちでいっぱいでした。</p> <p>毎朝早く仕事に行く父は、私や妹を起こさないように部屋の電気もつけずに制服に着がえます。そして、行ってきます！を言う時に顔を合わせるのですが、10才の夏、毎朝私の名前を呼んで「行ってきます」と言ってくる父に意味もなくイラッとしてしまう時期がありました。その時に母が第二次反抗期の事を教えてくれて、猛暑の中で一日頑張る父にとって、一日の始まりの家族からの「行ってらっしゃい」は、とても大切な言葉だと話してくれました。私も父の立場になって考えてみました。翌日からは「行ってらっしゃい」を小さめの声で言い、今では大きな声で言えるようになりました。父も笑顔で私もうれしいです。この作文を書くのが今でよかったなと思いました。</p> <p>父のように人々の生活を便利にし、住みよい町にする建設業の仕事は、すごくてかっこいいと思います。一つの工事が終わった時にどんな気持ち？と父にたずねると「みんなで完成させる喜びと達成感があるよ」と教えてくれました。</p> <p>私は将来メイクセラピストになりたいです。建設業ではないけれど、人を幸せにできるのは同じだから、父みたいに人の役に立てるように頑張りたいです。</p> <p>お父さんへ、いつもお仕事頑張ってくれてありがとう。</p>	

## 【15】

題名	宮大工の仕事
本人氏名	北嶋 龍斗 (きたじま りょうと)
性別	男
年齢	18
候補者との続柄	子
<p>私の父は、宮大工の仕事をしています。私は子供のころ、宮大工と大工の違いが分かっておらず家を建てるくらいの知識しかありませんでした。大学生になった今、宮大工の仕事が歴史的な建造物の修理をするものだと知りました。日本の伝統的建築物は世界的にも注目されていることからわかるように地震などの災害の多い日本で数百年もの年月が経っても形を保つことができる、とてもすごい技術があるということを知りました。現代の建築技術にも負けない、昔ながらの技術を使っている宮大工は、とてもすごいと思います。新しいものだけではなく過去のいいところも忘れずに技術が発展していければいいと思います。</p> <p>私の父は良く出張でいろいろな場所の神社などを修理しています。数年かけて修理するのはとても大変だと思うし、家から離れて仕事をするのはとてもすごいと思います。これからも日本の伝統的な文化を守るために宮大工の仕事をしっかり頑張ってもらいたいと思います。</p>	

## 【16】

題名	息子から見た建築技能者としての父
本人氏名	北嶋 龍冴（きたじま りょうが）
性別	男
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>技能技術者としての父の仕事に関して、見開きした話を中心に述べる。技能技術者という営業や仕事をしている姿からどれくらいの技術をもっているかを簡単に測ることはできない仕事ではないかと思われる。しかし、仕事に対する姿勢を聞いている限りでは、自分がその仕事を好きで取り組んでいる点、後進育成のために仕事に対する姿勢を伝えている点は自分のキャリア形成において参考にしたいと思える考え方が多い。技能技術者は、担い手の不足が深刻な中、誰もができる仕事ではなく、長期的に携わり続ける覚悟と取り組みたいという思いを持ち続けて、はじめて技能・技術を習得できるのではないかと思われる。</p> <p>技能技術の中でも大工は、後世に残すことができる建築物の建造・修復に携わる仕事で、後世に残ったその建築物こそ技能技術者の技能技術の証明になるのではないかと思われる。</p>	

## 【17】

題名	ライフラインを担う
本人氏名	石川 寿々花 (いしかわ すずか)
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>「ライフラインを担う」</p> <p>小さいころ、父の仕事は何かという質問に答えられなかったことをよく覚えている。「水道工事がメインだ」ということは聞いていた。が、資格勉強の様子を見ると、ガス、電気、土木、消防設備…見るたびに変わっている。幼い私は父の職業を指す言葉を知らず、「父の仕事は結局何なのか」とずっと不思議に思っていた。</p> <p>そんな父の仕事を身近に感じたのは、震災のときだ。私が経験した断水・停電生活の記憶の中に父の姿はない。ほとんどの時間、ライフラインの復旧作業に出ていたためだ。夜は遅く、朝は早く仕事に行き、ほぼ顔を合わせない父に対し、当時の私は「どうして大変な時に家族のもとにいてくれないんだ」と思っていた。幼い私には、謎に包まれた仕事に父が従事することより、目に見える日常生活に彼がいることのほうが重要だった。だからこそ、復旧した日のそう遅くない時間に彼が帰宅したときの感動が記憶に残っているのだと思う。「父が帰ってきてくれればいい」と考えていた私に「父のような仕事をする人が、生活基盤を支えているのだ」という気付きが生まれた瞬間だった。</p> <p>震災に限らず、日常でも建設従事者には急な出勤要請がある。ついこの間の正月休みにも、水道管の凍結工事に出て一日中働いて帰ってきた。このように電話一本で休日がつぶれることがあるという意味で、大変な仕事だなと感じることは多い。しかし、普段当たり前にあるものが使えない状況は、想像以上に不便なのもまた事実である。その点、必要とされて父が働いていると思うと娘である私もうれしく感じるのだ。</p> <p>結局現在になっても、直接現場をみたことのない私にも父の仕事がよくわからない。「〇〇で水が出なくなった」「水道管が破裂した」「トイレが壊れた」等の修理に出ていることまではわかる。しかし、それ以上の具体的な状況は未来の世界だ。危険を伴う仕事であるから興味本位で見に行けるものではない。きっと自分が従事しない限り、この先も知らないままだろう。だから私は、汚れたつなぎ、汗臭いタオル、そしてたまに手指につくる傷を見て、想像するしかないのだ。従事者の子ですらそうなのだから、関わりのない人ならなおさら縁遠い職業だと思う。実際、暮らしを支える建設業はカバーする範囲が広い分、はっきり内容を知る人は少ないに違いない。ただ、きれいな住環境が、従事者の汗水、苦勞の賜物であるということだけは心に留め、伝えていきたい。なぜならそれは、従事者を知る人にしかできないことだからである。ライフラインを支える者の力、そして背中は大きい。今日も現場に出るであろう頼もしい背中を、私は誇りに思う。</p>	

## 【18】

題名	僕の父
本人氏名	堂田 響稀 (どうた ひびき)
性別	男
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>僕の父は、道路の舗装工事の仕事をしています。新しい道路を作ったり、古い道路を直したりしています。夜間工事をけっこうあるみたいです。夜は機械に乗っていると見づらくてたいへんだ。「夏は夏で塗装工事は暑くてたいへんだ。」と言ってました。仕事では大きな機械に乗ったりしてるみたいです。前に父は、お前の爺ちゃんも大きな機械に乗っていたんだ。だから、お父さんも大きくなったら、大きな機械に乗りたいたいと言ってました。今では父の夢が叶ったのかもしれませんが。大きな機械なのでちょっと心配です。</p> <p>でも「カッコイイ」と僕は思います。ふだん家にはいません。地方で仕事をしています。</p> <p>網走や帯広、苫小牧などです。家には年に3、4回しか帰ってきません。僕が小学校の運動会にも来てもらえませんでした。とても寂しかった。でも、今思えば責任のある仕事をしているので仕方なかったと思います。父が休むと、仕事仲間に迷惑が掛かるからです。父も本当は、運動会に来たかったと思います。父も地方で家族のために頑張ってくれてるんだねと思います。父がふだん家に居ない分、僕が家で父の半分もできないけど僕なりに頑張っていきたいです。</p>	

## 【19】

題名	お父さんへ
本人氏名	佐藤 美優 (さとう みゆ)
性別	女
年齢	16
候補者との続柄	子
<p>お父さんの仕事は建設関係の仕事とだけしか知らなくて、仕事をしている姿を私は見たことがありません。だけど、いつも朝一番に家を出て、夜遅くまで仕事して帰って来る姿を見て、普段だらしなかつたり時にはイライラする態度を取ったりして正直頼りなかったけど、家族のために一生懸命頑張ってくれているんだと思いました。</p> <p>疲れていても、たまに家の手伝いをしてくれてありがとう。</p> <p>いつか車の中で、お父さんの仕事について聞いたことがあったね。あんまり普段は話せないことだったけど質問してみたら、結構生き生きと語ってくれたと思った。「この間はここに行って仕事したら」とか「こういうことをして切るんだ」って話を聞いて、私は前まで仕事いやいやながらやってたと思ってたら何か「やりがい感じて仕事してるんだ」って少しうれしかった。</p> <p>私もバイトをはじめて、つらいこと難しいこともまだまだたくさんあるけど、その中でもやりがいを感じられたら、いいなと思う。</p> <p>お父さんが今回、賞をもらえたのは、日頃から頑張ってるって認められたんだね。ちょっとは誇りに思って、これからも家族をささえてくれるとうれしいです。</p> <p>おめでとう。これからも体には気をつけて、お仕事頑張ってね。</p>	

## 【20】

題名	ぼくのお父さん
本人氏名	遠見石 侑平（とおみいし ゆうへい）
性別	男
年齢	12
候補者との続柄	子

ぼくは今、小学六年生です。ぼくのお父さんは、工事現場の現場かんとくをしています。

ぼくは、小さいときに、お父さんに現場に連れて行ってもらい、初めてショベルカーを間近で見せてもらいました。重機が大きくてかっこよくて、穴をほったり、たくさんの土をダンプカーに乗せたりするところに感動したことを覚えています。それを自分が操縦して動かせたらすごいなと思いました。それから、将来工事現場で働きたいという夢をもつようになりました。

お父さんは、家ではいつも冗談ばかり言ってふざけているけれど、仕事では真面目です。いつも場面にそった仕事の仕方を教えてくれます。例えば、高さが二メートル以上の工事をするときには足場を組むや、道路のほ装は二層に分けるなどです。ぼくも工事の質問をたくさんして、お父さんから工事の話の話を聞いているとわくわくしてきます。

お父さんは、重機に乗るときにいつも気を付けていることがあるそうです。それは、「あせらず、落ち着いてやる」ということです。ぼくは将来、自分で大きな建設会社を作って、お父さんみたいな仕事をしてみたいです。ぼくは重機が大好きなので、トンネルをほったり、山を切り開いて道を作ったりする大きな工事をしたいです。そのときに、お父さんがいつも言っている「あせらず、落ち着いてやる」をいつも頭に入れて仕事をしたいです。

ぼくは、四月から中学生になります。これから大変になってくる勉強や部活でも「あせらず、落ち着いて」は大切です。それに「こつこつ努力」も加えて、中学校生活をがんばっていきたいです。

ぼくは、二年生のときから少年野球をやってきました。すばらしい仲間に出会い、野球を五年間楽しんできました。これからも野球を続けていくし、プロ野球選手もかっこよくてあこがれるけど、でもぼくはやっぱり、将来お父さんのような現場かんとくになりたいです。

## 【21】

題名	私のお父さん
本人氏名	増田 和音（ますだ あいね）
性別	女
年齢	15
候補者との続柄	子

私の父は毎朝五時台に起床し、六時過ぎには家を出て仕事に向かいます。髪型はボサボサで顔もふにゃふにゃのまま冷たい水を一杯飲み、ベランダへと向かいます。何をするかと言うと、大切にしている熱帯魚の朝チェックに入ります。大切な朝だと言うのに、いや父にとっては「だからこそ」なのかもしれませんが、長い時間ベランダにいます。冬なんかは、凄く寒いはずなのに、平気で外にいます。十分に満足したあと、トイレへと向かい出勤するまでの残りの時間を過ごしています。トイレもかなり長いです。そして歯磨き、髪をセットし、お母さんが毎日四時半に起き作ってくれるお弁当を持って、階段をかけおります。時々目が覚め、車のエンジン音を聞くと「ああ・・・」と思います。まあ、すぐに二度寝に入りますが……。コーヒーを毎日買い、一日の仕事現場へ向かいます。

コーヒーを毎日買うと言っていました、毎日なのでコンビニ店員とも仲良くなり、面白い話をよくしてくれます。「毎回コーヒーのサイズを聞いてくる」というわからない話ですが、密かに私は誇りに思います。自分の仕事に関係なく、自分が生活していく上で関わっている人と会話ができるというのは、現代人の私にとってはなかなか勇気があることです。コンビニだけでなく、父が行く先で積極的に人とコミュニケーションが取れるという部分は大好きなところの一つです。

父は自分勝手にわがままで何も考えていない人だと家の中でよく言われます。確かに、あれを取れ、これを取れ、そして母にもあれが食べたい、これが食べたいとこれが亭主関白というのかなと思います。だけど、私たち四姉妹の子供が危険な目にあったときやピンチになった時は、一番に駆けつけてくれ、私達を優先してくれます。駆けつけてくれるだけではありません。側にいてくれます。例えば、私が体調を崩し、病院に行った時も待ち時間が四時間ほどかかってしまいました。そんな時も黙って一緒に待ってくれます。自分勝手にわがままだけど、誰よりも私達のことを考えてくれ、不器用ながらも真剣になってくれます。お父さんがお父さんで心からよかったです。母にももう少し優しくしてあげればいいのと思うこともあります。

母から聞いた話ですが、父は基本、口は出さず、母の好きなことをさせてくれると聞きました。ただ、親としては叱るべき事や行儀などは口うるさいです。それ以外は、「わかった」と言って好きな事、やりたい事を私達にさせてくれます。

父は一見、あまり良い印象をもたれない性格ですが、本当は凄く優しくて心が広い部分もあって、かっこいいです。文章では言い切れないほど、家族全員、父の好きなところがあります。調子に乗るのと言わないだけです。私は必ず父に似た旦那さんを見つけたいです。そして母のように、母にしか合わないような奥さんになりたいです。

## 【22】

題名	おとうさんのはし
本人氏名	山口 凌空 (やまぐち りく)
性別	男
年齢	7
候補者との続柄	子
<p>         ぼくのおとうさんのしごとは、はしをつくるしごとです。いままでおとうさんがつくったはしを見にいったのは、しがけん・みやぎけん・ながさきけん・おきなわけん・ぜんぶで九このはしを見にいきました。その中で、一ばん大きかったはしは、しがけんのせた川はしです。それはとてもふとい足がなん本もあって、グイーンとながくて、ぼくが百人いないととどかないくらいたかくて、はしの上はきょうりゅうのスピノサウルスのせ中のヒレみたいなかたちで、上のほうにはまるいてんてんがついていました。とても大きくてつよそうで、かんどうしました。       </p> <p>         しごとをしているおとうさんは、日やけしてまっ赤であせがいっぱいでした。ヘルメットとしごとのふくをきて、おなかには大きなベルトとどうぐがついていて、かっこよかったです。       </p> <p>         おとうさんは「雨の日もかぜの日もあさからよるまでたくさんのじかんをかけてがんばって、やっとなんとつくれたんだよ」といっていました。だからしごとがあるときは、おうちにかえってこれません。おとうさんも、ぼくとおかあさんとでんわしかできないのでかわいそうです。ぼくもおとうさんがかえってきたときは、いっぱいあそべていっしょにねれるのでうれしいけど、しごとに行くときはさみしくてかなしくて、いっぱいいないてしまいます。       </p> <p>         でもはしをつくるおとうさんのしごとは、人や車のやくに立てるからうれしいし、はしのことをよくしっていて、だれでもできないしごとだとおもいます。がんばっているおとうさんは、とてもすごいし、かっこいいです。ぼくは大きくなったら、おとうさんがつくったはしをぜんぶ見にいきたいです。       </p>	

## 【23】

題名	お父さんの職業
本人氏名	保刈 さくら (ほかり さくら)
性別	女
年齢	17
候補者との続柄	子
<p>私の父は左官職人です。建物の壁や床などを塗り、仕上げるという仕事をしています。様々な場所で、父の関わった建物を見かけることがあります。公共施設など、多くの人たちの目にとまり、利用する建物を多くあり、父の仕事は多くの人たちのためにあるのだと感じています。</p> <p>そんな父の仕事に興味を持ち、テレビで建物関係の話題や情報が流れると、よく見るようになりました。様々な職人さんが一緒になり、一から慎重にかつ丁寧に建物を建てている姿を見て、一軒の建物は多くの職人さん方の技と力の結晶なのだと感じました。</p> <p>父は朝早くから出勤し、夜遅くまで仕事をして帰宅します。大変そうではありますが、時間がある時はよく仕事の話をしてくれます。左官職人の方が出ている番組を見るような時も、いろいろな説明をしてくれます。そんな父を見て、自分の職業に誇りを持ち取り組んでいるのだということが伝わってきました。</p> <p>これからも多くの職人さん方に感謝しつつ、過ごしていきたいと思います。</p>	

## 【24】

題名	ぼくのお父さん
本人氏名	伊藤 想太 (いとう そうた)
性別	男
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、電気工事のお仕事をしています。いろんな建物に照明やコンセントをつけたりするために、パソコンで図面を書いたりしているそうです。かえってくるのがおそかったり、土、日もしごとだったり、いそがしそうですが、仕事がお休みの日は、パパとぼくの好きなチーズやおかしを食べます。とても楽しいです。最近はD I Yをするのにもはまっています。とてもクオリティーが高いので、さすが電気工事やさんだなと思います。</p> <p>機械にもくわしいので、なんでも教えてくれます。</p> <p>みんなの役に立つ仕事をしているので、とてもそんけいしています。</p> <p>今はコロナが流行っているなので、体にも気をつけて仕事をがんばってほしいです。いつもありがとう。</p>	

## 【25】

題名	私の大好きなお父さん
本人氏名	又木 姫菜 (またき ひな)
性別	女
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは電気工事のお仕事をしています。以前、私の通っている小学校にお父さんがお仕事に来ました。私はその時初めてお父さんが実際に仕事をしているところを見ました。その姿を見て、私はとてもかっこいいと思いました。お父さんが電気を変え終わった教室を見た先生方は「すごい明るくなる。」と喜んでいました。私はその先生方を見てなぜか私も嬉しくなっていました。私はこの時、お父さんがこの学校に来てお仕事をするとみんなが嬉しい気持ちになるんだなあと思いました。私は家に帰ってからお父さんにこの事を話すと、お父さんも笑顔になっていました。</p> <p>お父さんは休みの日もお仕事の時があるけど、それでみんなが笑顔になって、たくさんの笑顔ができるように、一生懸命働いているなら、それでいいかと思いました。</p>	

## 【26】

題名	私から見た父の仕事
本人氏名	中村 莉子（なかむら りこ）
性別	女
年齢	14
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、道路や駐車場をつくる仕事をしています。</p> <p>車でドライブしているとよく、「ここ、ほそうしたんだよ。」と言い、「へー、そうなんだ。」と私は言います。それくらいしか興味がありませんでした。きいてみると、「運動公園のサブグラウンドの下もほそうしたよ。」とききました。私は、サッカーをしているので、そのことをきいて、びっくりしました。人工しほの下にはほそうがあることもしらなかつたのに、そのうえ、それを父がやったと知って、ものすごくびっくりしました。</p> <p>私が父の仕事で一番大変そうだなと思ったのは、除雪の仕事です。冬に雪がつもると、「仕事行ってくる。」と言って仕事に行きます。夜もあるなんて大変だなと思いました。</p> <p>私は、父が除雪をしているところを見たことがあります。大きな黄色いグレーダーという機械を運転していました。あんな大きな車を運転できるなんて、すごいと思いました。そして、かっこいいとも思いました。</p> <p>私は、この作文を書いて、父の仕事について、よりくわしく知ることができました。そして、これからもがんばってほしいと思いました。</p>	

## 【27】

題名	愛梨のジジ
本人氏名	佐々木 愛梨 (ささき あいり)
性別	女
年齢	6
候補者との続柄	孫
<p>あいりのじじは、ハゲツルピッカのじじです。とっても大きくてのっぼのじじです。じじのお仕事は、サッシやさんです。</p> <p>お父さんもじじの会社で働いています。</p> <p>じじは、大きな車で札幌と函館を行ったり来たりして、働いています。いつも忙しそうです。</p> <p>じじは、大きなビルの窓をつけるお仕事をしています。天気が悪くても、雪が降ってとても寒くてもじじはビルの窓をつけるお仕事に行きます。</p> <p>仕事に行くときのじじはすごくカッコいいです。</p> <p>札幌にはじじがつけた大きなピカピカのビルがたくさんあります。大きなビルばかりでじじはすごいです。がんばりやさんのじじです。</p> <p>家に帰ってくるといつもじじはたくさん遊んでくれて、あいりはとても嬉しいです。じじは面白い話をたくさんしてくれます。あいりはじじと遊べるのがとても楽しみです。でも、じじは毎日たくさんお酒を飲んでいきます。毎日飲み過ぎて、お腹がポヨンポヨン丸くなってきています。あいりはじじにお酒を少し止めて痩せてほしいです。</p> <p>これからも元気であいりとたくさん遊んでください。そして、お仕事がんばってね。</p>	

## 【28】

題名	父の仕事について
本人氏名	萩原 空斗（はぎわら こうと）
性別	男
年齢	14
候補者との続柄	子
<p>僕は、この作文をきっかけに、はじめて父の仕事について知れました。</p> <p>僕が一番おどろいたのは、土に関しての仕事をしてるということです。家の中ではあまり仕事について話さなかったのですが、今までは分からなかったのですが、この作文を書くにあたって、はじめて仕事の内容だったりを聞き、とてもびっくりしました。</p> <p>そして、話を聞いていくと「土がしっかりしてないと…」というのを聞いてとても関心を持ちました。日本は世界の中でも地震が多く、場合によっては液状化も起きてしまいます。だからこそ父の仕事はとても重要なものだし、言い換えれば人々の生活の基礎をつくっているものだと僕は思います。</p> <p>今回このような作文をかいて、新しく知れたこともあったし、他の仕事に比べると、目立たなかったり、やることが分からないかもしれないけど、一つ一つの仕事がとても重要なことに気づくことができました。</p>	

## 【29】

題名	パパのこと
本人氏名	於本 珠依（おもと たまえ）
性別	女
年齢	7
候補者との続柄	子
<p>わたしのパパのしごとはダムをつくったり、どうろをつくったり、ちょっとまえにわたしのすむま ちの水もんをつくったりしています。とても大きな水もんです。</p> <p>パパは、いまはとおくでおしごとをしています。いまはかえってくるのが二しゅうかんに一かい金・ 土・日にかえってきます。パパがかえってくる日がはやくくればいいなとおもいます。</p> <p>パパのすきなところはいっしょにあそんでくれるところです。</p> <p>パパのすごいなあとおもうところはなんでもつくってしまうところです。ママが「こんなのがあれ ばいいな」というとそれをすぐつくってくれます。うさぎのおうちをつくったり、たなをつくったり、 てつぼうやぶらんこもつくってくれました。</p> <p>まえにいえでゴルフのあみの下のところにいっしょにコンクリートをしました。おもしろかった です。</p> <p>パパはすごくがんばっています。</p>	

## 【30】

題名	ぼくのお父さんの仕事
本人氏名	山田 友輝 (やまだ ゆうき)
性別	男
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>ぼくは、お父さんと一緒に出掛けている時に、「ここはお父さんが塗装の仕事をした建物なんだよ」と教えてもらった時に、こんなに大きな建物を塗装しているなんて、お父さんは凄いと感動しました。</p> <p>朝、僕が起きた時にはいつも仕事に行ってるいるし、帰って来るのも僕より遅いから、毎日お仕事を頑張っているんだなあと思います。</p> <p>お父さんが仕事をしている所を見たことがないので見てみたいです。けれど、塗装の仕事はすごく難しそうだから、僕には出来ないなあと思いました。</p> <p>休みの日に、お父さんと一緒に仕事をしているお兄さんたちと赤ちゃんが家に遊びに来て、一緒にご飯を食べたり、ニンテンドースイッチや人生ゲームをして遊んでくれるから、僕はみんなの事が大好きです。</p> <p>お父さんや、仕事の人たちはみんな優しくて面白いです。</p> <p>僕も大人になったら、お父さんみたいにカッコ良い仕事がしたいと思っています。</p>	

## 【31】

題名	お父さんの仕事
本人氏名	杉本 羽由真（すぎもと はゆま）
性別	男
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>お父さんは、いつも早くおきて仕事に行っています。夜の八時位に家に帰って来ます。何の仕事をしているのか聞くとエレベーターの仕事をしていると教えてくれました。</p> <p>エレベーターの仕事はきけんだと教えてくれました。ちゃんとじゅんびしてないとケガをすると言っていました。</p> <p>ぼくは野球をしています。野球をする前にはじゅんび運動をちゃんとしないとケガをするのと同じだと思いました。</p> <p>お父さんは休みの日には家で道具のていれをしています。ぼくもいっしょに野球のバットとグローブをきれいにしています。</p> <p>お父さんは人のためにがんばって仕事をしていると思いました。そして、ぼくはしょう来お父さんみたいに人のためになる仕事をしようと思いました。</p>	